

初挑戦

議員と住民との対話集会

議会 報告会

4月11日・13日・14日開催



概要説明をする小林議長

地域住民との 対話集会にあたって

3日間にわたりおこなった、大石田町議会初の試みである「議会報告会」と「地域住民との対話集会」。

町民の皆さんが議会にどれほどの関心を持っているのか、4月7日の余震直後にどれほどの方が会場に足を運んでくださるのか、非常に不安でした。しかし、どの会場にも予想以上に多くの方々のご参加くださり、活発な意見交換の場となりました。

今後も2回、3回と続けていきたいと考えておりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

開催状況

- ★会場 「横山地区総合センター」 参加者 25名
日時 4月11日(火) 午後7時～9時
- ★会場 「大石田町役場」 参加者 32名
日時 4月13日(木) 午後7時～9時
- ★会場 「海谷公民館」 参加者 35名
日時 4月14日(金) 午後7時～9時

※3会場に全議員が出席。

行政に対する質問・意見

意見：町職員の来庁者への対応が悪い。行政はサービス業と心得ているのか。

回答：議会や議員が職員へ直接指導するのは難しいので、町長に強く要望します。

町回答：日頃から職員に対しあいさつの徹底や自ら声を掛けて必要な場所までの案内を徹底するように、また来庁者の目線で用件をしっかりと把握するように指示をしております。なお一層指導を徹底していきます。

質問：人口減少を危惧しているが、定住者増加対策はどう考えているのか。
回答：人口減少は、全国的にも大変困難な問題です。

若者定住対策、企業誘致等に力を入れていくよう、それぞれの議員が積極的に議会活動を進めていきます。

町回答：急速な少子高齢化社会の進展は、規模の小さい町村にとって行政の存続をも危惧する緊急の課題です。人口減少対策として当町では、人口減に拍車をかける積雪寒冷地のハンディを解消するため、道路整備や除雪体制の強化、流雪溝面の整備事業を推進し、冬期間の積雪にも影響されない快適な生活環境の整備に努めています。

今後は、定住対策の一環として駅周辺での良質な宅地の確保や新たな集合住宅の建設、また豊かな自然と『そば』などの特産品を活用した交流事業の促進による定住化を進めていきます。

質問：駅東口の開発が構想にのっているが、どう進めるのか。
回答：議会質問での答弁では「若者タウン」として開発したい。」と言っています。ただし、「調査・設

計等に2年くらい必要だ。」とのことですが。

質問：町の借金減額を進めるべきではないか。10年後の借金はどれくらいになるのか。

回答：借金は大体70億弱で、減少に力を入れていきます。10年後いくらになるのかは事業の進め方次第なので、大変難しいです。

意見：豪雪対策本部へ電話したところ、「建設課だ。」と「町民税務課だ。」とタライ回しにされ、相手にされなかった。受付関係をしっかりしてほしい。
回答：解消するよう町長にしっかりと伝えます。

町回答：不快な思いをされたことに心よりお詫び申し上げます。今後このようなことのないよう職員に対して指導を徹底していきます。